

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書 (防災安全部)

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号

105

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・夢の実現に向け自ら学び自ら考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切にし、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。
評価する領域・分野	「安全管理」「研修」「教育環境整備」
現状及びアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童生徒の安全に気を配り、緊急時の対応がしっかりしている。」の項目については、ほぼ達成できている(87%)という意見をいただいているが、さらに職員の防災体制、防災意識の一層の向上や安心・安全・快適な環境整備等を整えていく必要がある。 ・「親子防災教室は児童生徒に応じた体験や学習ができるよい行事である」の項目については、達成はできている(80%)が、さらにより児童生徒に応じた内容の検討が必要である。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の防災体制、防災マニュアルの見直しと活用を推進する。 ・火災、地震、大雨、土砂災害等を想定した命を守る訓練、引き渡し訓練を実施し、課題改善する。 ・様々な訓練や職員防災研修を通して、防災意識を高める。 ・PTAや自治体、行政と連携して防災体制作りを行う。 ・防災・減災センター等と連携した防災研修を行い、職員の防災意識を高める。 ・児童生徒が安心・安全・快適に学校生活を送ることができるように、安全点検を実施する。また、職員清掃・職員作業を計画的に実施する。 ・学校行事等での駐車場計画をとりまとめ、事故等がないように安全に配慮し、実施する。 ・校内の掲示物や落とし物の管理、施設・敷地内美化の啓発を行う。
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> ・分掌内を「防災計画」、「環境整備」の2係に編成し、それぞれに職員の特性を生かして小学部、中学部、高等部職員を配置する。
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策委員会を開き、防災体制の確認や様々な防災に関する課題の検討を行う。 ・命を守る訓練や引き渡し訓練、親子防災教室の計画・実施・反省を行う。 ・防災対策をテーマにした外部講師による研修会を計画・実施する。 ・安全点検カードを使用して、月に1回、校舎内外の安全点検をする。 ・定期的な職員清掃・職員作業の計画と、日常の校内清掃の呼びかけを行う。 ・外部の駐車場を借りたり、グラウンドへの駐車を利用したりして安全に配慮した計画・実施する。 ・定期的に掲示物、落とし物管理、呼びかけ等を行う。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策委員会や様々な訓練を通して防災体制や防災に関する課題を明確にし、改善することができる。 ・職員の防災に対する知識や意識を高めることができる。 ・年間を通じて安全点検や職員清掃、職員作業を適切に実施することができる。
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・地震を想定したショート訓練を月1回、5月に地震から火災を想定した訓練と大雨を想定した引き渡し訓練、7月に親子防災教室、10月に大地震を想定した訓練、1月に火災を想定した訓練を実施した。 ・4月に自立学級児童生徒の避難方法についての研修、8月に岐阜大学防災・減災センターの職員を講師に招いた研修会を実施、1月には学校安全指導者派遣事業で岐阜大学防災・減災センターの職員を派遣していただき、命を守る訓練と校内安全点検の指導を受けた。 ・4月に第1回災害対策委員で防災体制等の確認、12月に第2回災害対策委員会で福祉避難所に向けた進行状況、気象変災時における学校の対応の検討、防災対策の進行状況等について行った。また、その他、気象変動に応じて、適宜、災害対策委員会を開き、対応を検討した。 ・管理責任者による月1回の安全点検の実施と定期的な職員清掃の実施ができた。 ・適時、分掌職員等を配置し、安全に配慮しながら誘導し駐車していただくことが

	<p>できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P T A総会や授業参観に落とし物を展示し保護者へ呼びかけを行った。
評価の視点	評価
① 災害時の体制や防災に対する課題を明確にし、改善できたか	Ⓐ B C D
② 防災の日常化に対して理解し、防災に対する意識が向上したか	A Ⓑ C D
③ 安全点検や清掃活動が適切に実施できたか	A B Ⓒ D
成果・課題	総合評価
<p>○地震、火災、大雨を想定した命を守る訓練、引き渡し訓練を実施し、防災体制の確認を行うことができた。また、P T Aや関係諸機関だけでなく、地域と連携した親子防災教室を行うことができた。</p> <p>○災害対策委員会を開き、防災体制の確認や気象変動に応じた対応の検討、福祉避難所開設に向けての検討、その他の防災に関する課題の検討を行うことができた。</p> <p>○教室のロッカー等の転倒防止の作業を進めることができた。</p> <p>○月1回の職員清掃・作業を実施し、校内外の環境整備に全職員で取り組むことができた。</p> <p>▲防災研修会を行うことで、職員の防災に対する意識が向上してきたが、災害時の職員の動き方、児童生徒の安否確認方法等について一層の改善や理解、啓発が必要である。</p> <p>▲職員による定期的な安全点検を行うことができた。また、破損箇所等については必要に応じて、速やかな修繕を行うことができた。しかし、職員清掃については、特にトイレの汚れが目立つ箇所があり、清掃当番体制の見直しや計画的な職員清掃、職員作業をさらに検討していくことが必要である。</p>	A Ⓑ C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜大学防災・減災センターの職員を講師に招いて、D I GやHUGといった発展的な防災研修を行い、職員の防災意識をより向上させる。 ・ 調理室や図書室等の特別教室に応じたロッカー等の固定方法を調査し計画的に固定を進めていく。 ・ 実際の災害（地震、土砂災害等）を想定した具体的な職員の動き方（夜間、休日、長期休業中含む）の検討を行い、福祉避難所開設への準備を進める。 ・ 各市町村が発行するハザードマップを活用し、児童生徒の居住地や利用する避難所の把握を行い、安否確認時に活用できるようにする。 ・ トイレの清掃は担当者が日常的に責任をもって行うよう呼びかけるとともに、その他の場所を月1回職員清掃として今後も実施する。また、時期に応じて校舎周りの清掃を職員作業として今後も計画的に実施する。
<p>学校関係者評価 （平成31年2月7日実施）意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災は楽しく学ぶ視点が大事。徳山の地獄うどんを取り入れるなど先生方の工夫が素晴らしい。これからも地域と協力して取り組むとよい。自治会としては、集会所に防災備品を並べて子供たちに実際に触れてもらうことや、近所の公園を散歩や避難訓練で活用してもらうことなどを提案したい。 	